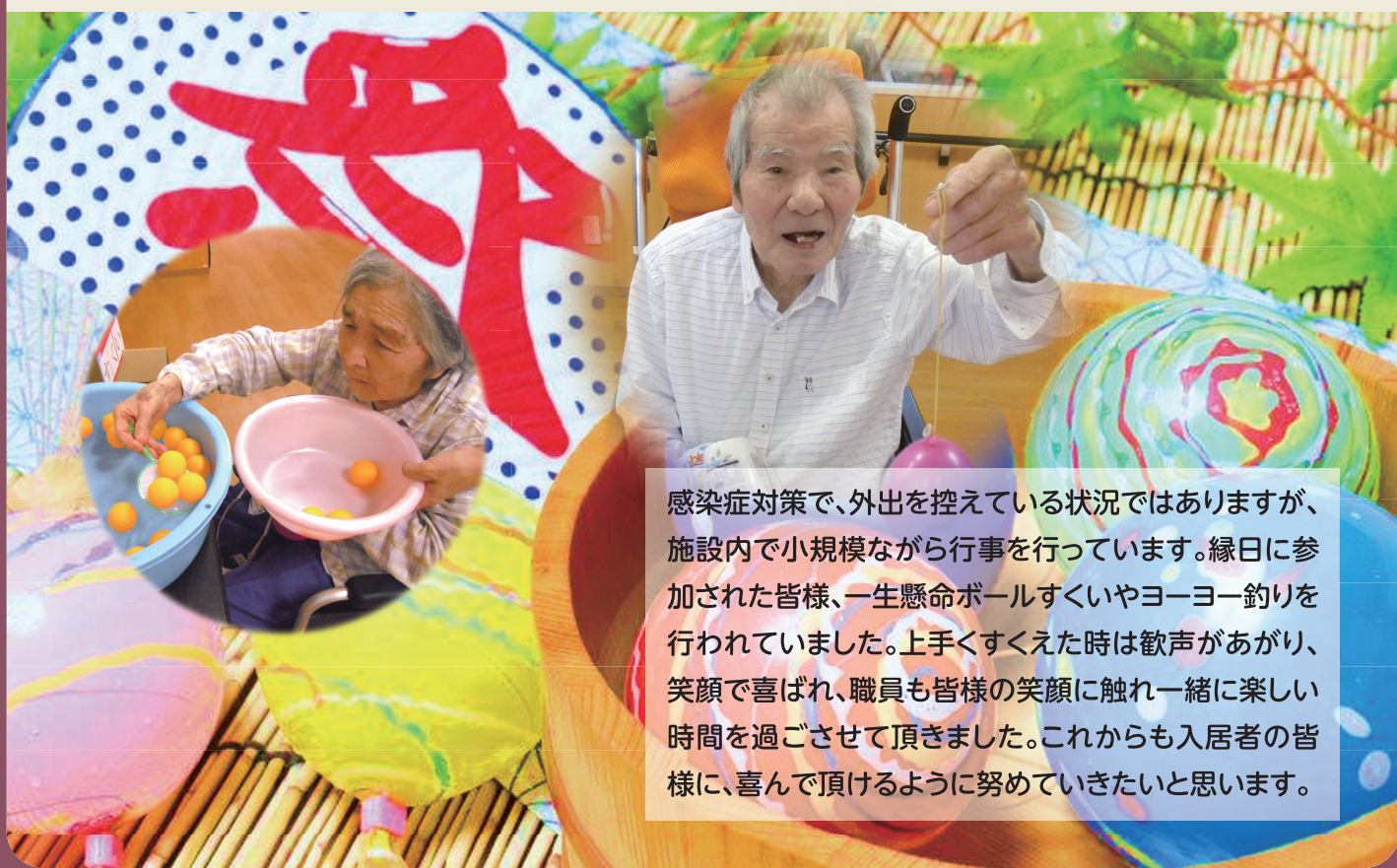


豊橋 特別養護老人ホーム 大清水彩幸 施設だより



感染症対策で、外出を控えている状況ではありますが、施設内で小規模ながら行事を行っています。縁日に参加された皆様、一生懸命ボールすくいやヨーヨー釣りを行われていました。上手くすくえた時は歓声があがり、笑顔で喜ばれ、職員も皆様の笑顔に触れ一緒に楽しい時間を過ごさせて頂きました。これからも入居者の皆様に、喜んで頂けるように努めていきたいと思います。

豊橋・大清水 彩幸 特別養護老人ホーム グループホーム

豊橋 グループホーム 大清水彩幸 職員だより 「がんばれ日本!」



2020東京オリンピックが開幕!!

金メダルを目指し頑張る選手や、応援する皆様が一丸となり挑む大会ですが、1964年に行われた初めての東京オリンピックを観戦された方にとっては、2度目の東京オリンピックということもあり、特別な感情で応援する方も多く感じました。



思いは様々で、昔のオリンピックの内容を思い出す方、家族みんなで応援した風景や、その時代背景を思い出す方、等々。

選手にとって大事な思い出になるオリンピックですが、応援する人にとっても、とても大切な思い出になります。

メダルを取る事も嬉しいですが、参加し、応援することで、皆様にとってかけがえない思い出になります。全力で応援しましょう!

がんばれ!日本!



豊川 彩幸

ケアハウス

デイサービスセンター

居宅介護支援事業所

豊川 ケアハウス豊川 彩幸 職員だより 「コロナ禍での運動不足解消!」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人と会う機会や外出することが減ったことで運動不足になっています。運動不足になると気分が落ち込んだり疲れ易くなり、筋力が弱くなります。

ケアハウスでは、平日の9時50分から入居者の皆さんと一緒にソーシャルディスタンスと換気をしながら、ラジオ体操第一・第二を行っています。

ラジオ体操は、立位でも座位でもできるため、入居者様自身の体力や体調に合わせて行うことができます。ラジオ体操の歌が流れると身体が自然に動き出し、歌が終わる頃には硬く固まった体が少しほぐされ、「さあ!今日も1日頑張るぞ!」と活力が湧いてきます。運動は1人で行うよりも他の方と一緒に進むのが習慣化しやすいですし、楽しいですよ!カーオスのように? 健康の維持促進のために継続していきましょう。



豊川 デイサービスセンター豊川 彩幸 職員だより 「頑張った賞」



デイサービスでは新たな試みとして、毎月3名~4名の方を対象に、その月に特に頑張った方に表彰を行っています。

レクリエーション、軽作業、生活リハビリ、幅広いジャンルから選択しています。表彰は皆さんの注目の中で行うので「恥ずかしいな」と話されながら「嬉しい」とのお声を頂いています。今後もできる限りの感染対策を行い、レクリエーションの充実、行事の創意工夫を行い、利用者様が「来てよかった」と思ってもらえるように努めていきます。



豊川 居宅介護支援事業所豊川 彩幸 職員だより 「ケアマネ四方山話 Vol.1」

Withコロナの生活に少しずつ慣れてきましたが、今も感染終息が見えない日が続いています。感染対策を目的として「自粛」「不要不急」「モラル」という言葉をよく聞きます。

「自粛」自主的に行動などを慎む 「不要不急」する事、急ぐ必要のない事 「モラル」道徳。倫理

言葉の意味としては主にこのような認識になると思いますが、人により言葉の解釈に幅ができるので、会話の中でビックリしてしまう事も増えました。

SNSに載っていた一文を紹介します。 「こんなご時世ですので、近くの〇〇に△△と出掛けてきました。」 人により感染対策の解釈の物差しが違うので気になる部分も違うと思います。自分の気になった部分と、他の人が気になった部分を教え合い、感染対策についての考え方の違いを理解してみる事も面白いのではないのでしょうか。(T)



今年度も早いもので折り返し地点。新型コロナウイルス感染症も収束の兆しはありませんが、ひとりひとりが初心に戻り、基本的な感染症対策を実践していきましょう。

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。 社会福祉法人豊生会 https://saikou.or.jp/ 【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011 【大清水彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 【豊川 彩幸】豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

人はそれぞれの個性を持って生まれ ひとりとして同じ人生を歩む人はいない 生まれも育ちもちがう人達が集う施設だから 自分色の光を輝かせながら お互いの色を重ね合わせる虹のように ここで幸せの彩りを輝かせてほしい

社会福祉法人 豊生会 彩幸 https://saikou.or.jp/



Vol.6 2021年9月発行 豊生会 彩幸発行 機関紙「仁志」



老舗を目指して



「老舗」 豊川彩幸 副施設長 川口尚志

「努力は裏切らない」次のごとは何かしら終わった瞬間からスタートしている「ボランティアさんありがとう」オリンピック選手の言葉が私たちが清々しい気持ちにさせてくれました。その中でも「心を鍛えなさい」オリンピックで金メダルを獲得した東南アジアのパドミンソン選手が「父親同然のように育ててくれた兄をコロナで亡くし最後にかけられた言葉で、兄妹の思いを想像する」との身引き締まる思いがします。 豊川彩幸は今年で二十二年目を迎え、私が彩幸に入職したのはその二年後のことです。当時 無資格未経験であった私を暖かく受け入れ、指導下さった先輩との思い出が今でも鮮明に浮かびます。現在勤務している豊川彩幸には在宅に関わる事業所が集まっており、利用者様・家族様の意見を積極的に取り入れた柔軟なサービスを目指しています。 更には地域や同じ福祉事業者様にとっても親しみある施設であるよう工夫を続け、包容力のある豊かな集いの場でもありたいと考えております。 コロナ禍は社会を変えながらも、様々なものを冷静に見つめなおす時間をくれました。それは福祉事業も同じで、その結果利用者様の状態を多角的に把握し質の良いサービスと環境を作る体制へと変わってきました。 ニーズを広く深く読み解き、先々の課題を想像し、楽しみながら目標達成を目指す視点が重要になっていきます。福祉事業の「人や地域に寄り添う精神」を軸に、専門分野以外でもグローバルな視点を持ち、情報を取捨選択しサービスを提案できるような施設像を考えております。 新たな局面に向けて歩み始めたばかりではありませんが、朗らかで信頼ある職員を財産とし、彩幸の人を守り育てる伝統を胸に「福祉施設の老舗」となるよう取り組んでいきたいと思っております。

豊橋(西赤沢) 彩幸 ●特別養護老人ホーム ●ショートステイ ●デイサービスセンター ●軽費老人ホームケアハウス ●居宅介護支援事業所 ●地域包括支援センター 〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95 TEL.0532-23-6011 FAX.0532-23-6010

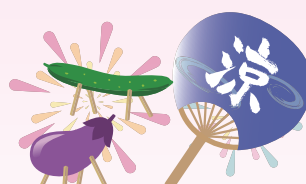
豊橋(大清水) 彩幸 ●地域密着型特別養護老人ホーム ●グループホーム 〒441-8131 豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 FAX.0532-25-3707

豊川 彩幸 ●軽費老人ホームケアハウス ●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所 〒442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

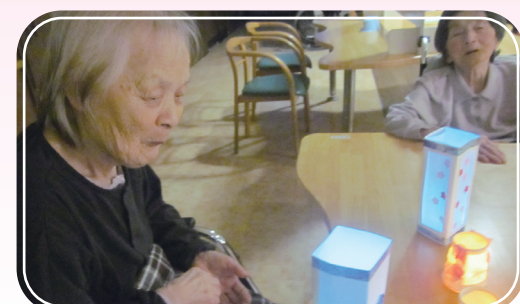
豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 施設だより

コロナ感染対策の影響で外出行事もままならず“各地で猛暑”などのニュースを見ては「こんなに今は暑いのか」と驚いている様子がよく見られます。

先日利用者様と工作で灯籠を作りました。4色に光るライトを中に入れ 電気を消した空間でゆっくりと光を眺めました。「お盆の灯籠みたいだね」「若い時にはお盆になると茄子ときゅうりに足を付けて…」と光を見つめながら思い出話を聞かせてくださいました。“来年はきゅうりと茄子に足を付けて「送り火」「迎え火」をみんなでやっても楽しそう!”“お祭りは出来なくても、浴衣を着てお化粧してオシャレをするのも楽しそう!”とお話をする利用者様を見て思うのです。



利用者様の嬉しそうな顔や笑顔で私たちも元気になります。これからも制限や我慢の生活が続くかもしれませんが、中でも利用者様も職員も一緒にわくわく出来るような企画を考えて毎日楽しく過ごせるように努力していきます。



豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 ショートステイ 彩幸 施設だより 季節のお花のお茶会



ショートステイ彩幸には中庭があり、利用者様たちと季節の花々を植えて四季を感じています。今年はペチュニア・ハウセンカ・ミニバラ・キンセンカ等植え、花が咲き乱れる頃に中庭でお茶会を開きました。

外で日光を浴び花を鑑賞しながら飲むお茶は格別で、利用者様の笑顔も綻びます。青い空を見上げ、さわやかな風に当たる、そんな当たり前の日常がとても有難く、大切なものだと感じます。



豊橋 居宅介護支援事業所 彩幸 施設だより

読書の秋、皆さんはどんな本を読んでいますか？

今回は、ケアマネジャーが読んで、感動したり、考えさせられたり、そんな本をご紹介します。



『臨床の砦』 夏川草介/著 小学館

地方の小さな病院で、新型コロナウイルスとの奮戦をつづける医師らのお話です。著者自身も医師である事から、コロナの最前線の過酷さが現実味をもって迫ってきます。コロナ禍で次々と運び込まれる患者の対応に追われ、出口も正解も見えない中でも、主人公の敷島医師は個々の患者の人生に寄り添い、最善の道を見出そうとします。その姿に「かくありたい」と感銘を受けました。



『ケアマネジャーはらはら日記』 岸山真理子/著 三五館シンシャ

現役ケアマネジャーのエッセイです。日々いろいろな事が起こるケアマネジャーの仕事のリアルが描かれていました。赤裸々すぎて、「ここまで書いて大丈夫なのか、この人は」と読んでいるこちら、はらはらしてしまいます。この三五館のシリーズは、介護職員が書いたものもあり、気になるところです。

豊橋 彩幸 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 施設だより ～楽笑ゆずの会～



コロナウイルスワクチンの接種が進みつつありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。思い返せば今年は緊急事態宣言に始まり、3月の解除で安堵したのもつかの間、再び蔓延し頭を悩ます日々が続いています。それでも昨年から続くマスク生活や手洗いや換気、人との距離を取るといった新しい生活様式(感染予防習慣)が自然と身についたように思います。そうしたなかで、感染予防のため中止再開、また中止となった地域の居場所や体操教室が多くありました。今回は中止再開が繰り返されてもつなげる工夫を続け、活動を継続してきた地域の体操教室を紹介します。

笑顔輝く【楽笑ゆずの会】です！

健康のためにと集まった小沢校区の仲間達!!毎週月曜日に小沢校区市民館で体操と脳トレを楽しんでいます。1時間半の間笑顔と笑い声が飛び交います。「ここに来るのが楽しい!だから続けられる。」と会に参加する皆が口を揃えて言います。素敵ですね。健康のため、そして介護予防のために良いことだとわかっていても続けることは難しいです。楽しいという思いがとても大事なことを実感します。地域包括支援センターはこうした健康と介護予防につながる活動の応援や動きかけをしています。笑顔と健康のため皆様も楽しいこと、続けていけることを見つけて下さい!

豊橋 ケアハウス 彩幸 施設だより ～ケアハウス 日々雑感～

コロナのワクチンも2回打ち終わりましたが、ひと安心とはいかない日々が続いています。なかなか元に戻らない日常。長い梅雨や大雨に気温上昇と、天候も厳しい夏です。



4階ベランダにある花壇では、今まで季節ごとに原田さんが花でいっぱいにしてきていましたが、今年も中川さんというお仲間が加わりました。

春先から二人で打合せしていた様子でしたが、中川さんは菜園を作ることにしたとのこと。「何を植えるの?」「ゴーヤにトマト、枝豆でしょ。それと赤しそ、赤しそは取れたらふりかけにするのよ」と楽しそうに話していました。早朝に夕暮れ、また雨の日には傘をさして、熱心に見守り、手入れをされていました。芽吹いた若葉を見て「本当にかわいいよ」と。収穫は上々だったようです。

原田さんが咲かせた花をすてきにアレンジして、リビングに飾るのも上手でおもわず写真に撮ってしまいました。

花壇の小径や草花を目にしていると、思うようにならない事にも「もう少し、もうひと越え、がんばって毎日過ごしてみようか」とそんな気持ちになります。



豊橋 彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 職員だより 「野菜作り」

「今日はどうだん?」と到着するとすぐにシルバーカーを押しながらフロアの窓越しに外の様子を覗きに来て下さる岡本さん。その視線の先には猫の額ほどのほんの小さな畑があります。岡本さんは野菜の成長を気に掛けて下さっているのです。

キュウリ・トマト・トウモロコシ・枝豆と夏野菜が勢揃い。これらは、6月に利用者の皆さんと一緒に色々教えて頂きながら植えました。まるでマダゴト遊びのような畑ですが、それでも外の風に吹かれ、土に触れワイワイとおしゃべりしながら作業をしていると、自然に笑顔がこぼれイキイキとしている様に見えます。丹精込めて作ったおかげで収穫はまずまずの出来栄でした。

